

本がいっぱい!



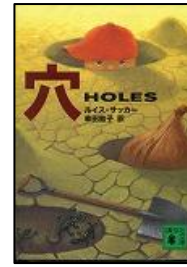
Teen's 2013



『階段途中のビッグ・ノイズ』《Y F コ》

越谷 オサム/著 幻冬舎

先輩たちが退学! 軽音部が廃部! ? 呆然とした啓人は、幽霊部員の伸太郎に引きずられるよう行動を開始した。目指すは、廃部取り消しと文化祭で開催される“田高マニア”への出演だ。だが、不祥事を起こした部活への風当たりは強かった。二人は、顧問とバンドメンバーを探して、文化祭でロックンロールできるのか! ?



『穴』《Y F サ》

ルイス・サッカー/著 幸田 敦子/訳 講談社

ひいひいじいさんの呪いのおかげで、めちやくちやついてないスタンリー。無実の罪で矯正キャンプに入れられ、来る日も来る日も穴を掘ることに。人格形成のためっていうけど、どうやら他にも理由があるらしい。秘密いっぱいのでキャンプでスタンリーの運命やいかに?

『レガッタ! 1 一水をつかむー』《Y F ハ》

濱野 京子/著 一瀬 ルカ/画 講談社

「どうせやるなら、一番になりたい!」という強い気持ちを持った有里。念願の高校に入学し、有里が選んだのは、インターハイ常連の強豪ボート部。最初は誰にも負けたくない一心だったが、次第にボート競技の楽しさに気づきはじめる。

※続編の『レガッタ! 2 一風をおこすー』もおすすすめです。



『サリーの帰る家』《Y F オ》



エリザベス・オハラ/作 もりうち すみこ/訳
吉實 恵/画 さ・え・ら書房

父親の突然の死により、妹とふたり遠い農場に働きに出されることになったサリー。見知らぬ雇い主の元、妹と別れ一人働くことになったが、夢見がちなサリーは、苦手な家事に悪戦苦闘する毎日だった。だが、故郷に残る家族を思い、懸命に働くうち、サリーは少しずつ変わっていく。

※続編『サリーのえらぶ道』『サリーの愛する人』もおすすすめです。

『夏への扉』《Y F ハ》

ロバート・A.ハインライン/著 小尾 芙佐/訳 早川書房

最愛の恋人と親友に裏切られ、仕事も発明も失ってしまった僕は、酔っぱらったあげく、30年間のコールド・スリープを契約してしまう。間際で思いとどまり、裏切り者どもに立ち向かうのだが、何もかもすべてを奪おうと企むあいつらのペテンにかけられて…。



『はるかなるアフガニスタン』《F ク》



アンドリュウ・クレメンツ/著 田中 奈津子/訳 講談社

勉強が好きじゃないアビーは落第寸前。進級のための課題として、アフガニスタンの女の子アミーラと文通をすることに。最初は課題として始めたアビーだったが、手紙を通じて徐々に心の交流を深めていく。そんなある日、アフガニスタンから、同じ筆跡の手紙が2通届いた。1通はアミーラから、そしてもう1通は…。

TOKOROZAWA PUBLIC LIBRARY

所沢市立所沢図書館

『クラバート』《Y F プ》

オトフリート=プロイスラー/作 ヘルベルト=ホルツィング/絵
中村 浩三/訳 偕成社

夢の中の声に荒地の水車場へと呼ばれたクラバートは、あやしげな親方の元、魔法使いの見習いとなった。だが、そこには何か秘密が隠されているようだった。毎年、大みそかになると仲間が一人ずつ死んでいく…。クラバートは秘密を解き明かすことができるのか。



『燃えよ剣(上・下)』《Y F シ》

司馬 遼太郎/著 新潮社

幕末、新撰組副長として京の町を震えあがらせた男、土方歳三。武州多摩の“バラガキのトシ”が、浪人や百姓の寄せ集め集団にすぎなかった新撰組を最強の剣客集団に作り上げ、歴史に波紋を広げていく。剣に生き剣に死んだ彼の壮絶な一生を描く。



『救命救急フライトドクター —攻めの医療で命を救え!—』《4 9》

岩貞 るみこ/著 講談社

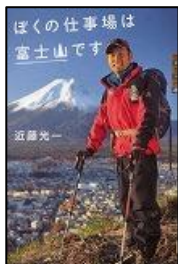
「命を救いたい。」救命救急の現場では、一秒でも速く治療にあたるのが生死を分ける。医師自らがヘリに乗り込み患者の元に向かう「攻め」の医療、ドクターヘリ。導入までに立ちはだかる壁を、多くの人の熱意と連携で乗り越え、ドクターヘリは今日も飛び続ける。



『ぼくの仕事場は富士山です』《9 1. 4》

近藤 光一/著 講談社

富士山のガイドをしている著者は、なんと500回近くも頂上まで登っています。そんな著者が、富士山について日々の経験から感じたこと、わかったことを本音で熱く語ります。富士山の大きさを感じると、小さな悩みなんて吹き飛んでしまいます。



『すごいぞ! 「しんかい 6500」 —地球の中の宇宙、深海を探る—』《5 5》

山本 省三/著 友永 たる/絵 くもん出版

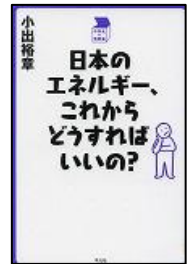
科学が進んで、人間は月や火星のこともわかるようになった。だが、地球には、宇宙と同じくらい謎に満ちた世界「深海」がある。暗闇や水圧など、さまざまな困難を解決し、潜水船「しんかい6500」が、謎の一部を明らかにする。



『日本のエネルギー、これからどうすればいいの?』《Y 5 0》

小出 裕章/著 平凡社

日本の原発はなぜなくせないの? 原発をやめたら、どうなるの? 福島事故以来話題になっている原発。原発問題の本質や放射能の性質について、図やグラフを駆使して、素朴な疑問にわかりやすく答えてくれる一冊。エネルギー浪費型社会から抜け出すために、今私たちにできることは何か?



『巨大地震をほり起こす —大地の警告を読みとくぼくたちの研究—』《4 5》

宍倉 正展/著 少年写真新聞社

日本は大昔から地震や津波がくりかえし起こり、これからも起きる場所だ。避けられないならば、逆に興味を持ってみよう。しくみや現象がわかれば、怖さも減るし、冷静に対応もできるはず。大地震に刻まれた警告を読み取り、地震を知るのがぼくらの研究だ。



『草にすわる』《9 1. 1》

市河 紀子/選詩 保手濱 拓/絵 理論社

いつも気にもしないけれど、世界はきらきらかがやくものであふれています。美しい詩の世界に触れてみてください。今まで言葉にできなかったいろいろなことを素直に見つめ、新しい発見へと導いてくれます。谷川俊太郎、工藤直子、茨木のり子らによる、詩のアンソロジー。

